

令和6年度 学校関係者評価報告書

大阪市立清水丘小学校 学校協議会

1 総括についての評価

本年度の学校の自己評価結果は概ね妥当である。
保護者や地域には「学校だより」「学年だより」「ホームページ」などを通して情報発信をしている。

2 年度目標ごとの評価

年度目標：安全・安心な教育の推進

- 令和6年度2回目児童アンケートにおいて「毎日学校に行くが楽しい」の項目について肯定的回答をする児童の割合を前年度比1ポイント以上上げる（前年度83.3%）
- 令和6年度2回目児童アンケートにおいて「いじめはどんな理由があってもいけないことだ」の項目において肯定的回答をする児童の割合を前年度比1ポイント以上上げる。（前年度88.9%）
- 令和6年度2回目児童アンケートにおいて「自分にはいいところがある」の項目について肯定的回答をする児童の割合を83%以上にする。

- 達成状況の評価に関しては妥当である。子どもが学校に行くのが楽しいと感じているのが一番である。いじめを許さない心情が育っていると思うので、その心情に基づいて行動する社会性を身に付けていってほしい。

年度目標：未来を切り拓く学力・体力の向上

- 小学校学力経年調査における「学級の友だちとの間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広めたりすることができていますか。」に対して、最も肯定的な回答をする児童の割合を60%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。)」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を70%以上にする。

- 達成状況の評価に関しては妥当である。ICTを授業の中に効果的に取り入れたり基礎・基本の定着に活用したりして児童の学力向上に努力しているので今後の成果に期待したい。体力向上への取り組みに対しては、少しずつであるが運動好きの子が増えているので継続して取り組んでほしい。

年度目標：学びを支える教育環境の充実

- 令和6年度2回目児童アンケートにおいて「タブレット端末を使った授業は面白い」の項目について肯定的回答をする児童の割合を80%以上にする。
- 第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準1を満たす教員の割合を65%以上にする。

- 達成状況の評価に関しては妥当である。ICTを活用した学習を積極的に取り入れ、子どもの興味・関心を引き出している。また、授業以外の生活指導にも活用したり家庭学習に取り入れたり学校生活全般に活用して児童の支援にあたっている所以今後の成果に期待したい。

3. 今後の学校運営についての意見

- 来年度も今年度の取り組みを継続・深化させ、より安全安心な学校づくりを進めるとともに児童一人ひとりの課題に即した指導・支援がさらにできるよう研究・実践を進めていってほしい。